

平成 28 年度施策評価の結果について
(事後評価)

平成 28 年 11 月
長崎県

1 はじめに

本県の政策評価は、「県民の皆様に対する行政の説明責任の徹底」、「効果的かつ効率的な行政の推進」、「県民の皆様の視点に立って成果を重視した行政運営の実現」を目的として、長崎県政策評価条例に基づき、事業の成果等を検証しています。

本年度においては、県政運営の指針として平成 23 年度に開始した「長崎県総合計画」の計画期間が、平成 27 年度をもって終了したことに伴い、新たな施策の企画立案や事業の見直し等に活用するため、これまでの取組や数値目標の達成状況等を評価する施策評価(事後評価)を実施しましたので、その結果を公表します。

2 達成状況の検証

(1) 全体の達成状況

- 長崎県総合計画(計画期間:平成 23 年度～平成 27 年度)に掲げた 372 項目の数値目標のうち、施策と主要事業の指標が同じもの、現時点では平成 27 年度実績値が把握できないものなど 18 項目を除く 354 項目の平成 27 年度の達成状況は、目標達成が 230 項目(65.0%)、概ね達成(達成率 90%以上)を含めると 281 項目(79.4%)であり、各数値目標を単純平均した平均達成率は 91.9%となっています。

(2) 基本理念別の達成状況

- 基本理念 1「人が輝く長崎県」の平均達成率は 91.2%であり、概ね順調に推移しましたが、数値目標の達成項目数の割合は 52.5%にとどまっており、中でも、政策 1「未来を託す子どもたちを育む」については 39.5%と低くなっています。政策 1 の代表的な数値目標である「合計特殊出生率」は目標を達成したものの、「子育てについて楽しいと感じることが多い人の割合」は未達成となっており、県民の皆様と課題や意識をしっかりと共有しながら、事業展開を図っていく必要があります。
- 基本理念 2「産業が輝く長崎県」の平均達成率は 93.2%であり、各政策の数値目標の達成項目数の割合も総じて順調に推移しました。「誘致企業による雇用創出者数」や「農林業及び水産業の新規就業者数」など、雇用に関する目標も順調に推移しており、有効求人倍率も改善してきています。(平成 23 年度:0.60 倍→平成 27 年度:1.01 倍)
- 基本理念 3「地域が輝く長崎県」の平均達成率は 91.4%であり、概ね順調に推移しました。特に政策 10「地域づくりを支えるネットワークをつくる」は、道路整備や交通体系の維持・確保等の取組が概ね計画どおりに進捗した結果、数値目標の達成項目数の割合は、88.9%と全政策の中でも最も高くなっています。

【表 1】基本理念別の達成状況

基本理念	政策	平均達成率	達成区分		
			達成	概ね達成	未達成
人が輝く長崎県		91.2%	52.5%	25.4%	22.0%
	1 未来を託す子どもたちを育む	89.6%	39.5%	44.7%	15.8%
	2 一人ひとりをきめ細かく支える	92.1%	62.9%	14.3%	22.9%
	3 人を育てる、人を活かす	91.9%	55.6%	17.8%	26.7%
産業が輝く長崎県		93.2%	72.5%	7.3%	20.2%
	4 力強く豊かな農林水産業を育てる	91.6%	72.5%	5.0%	22.5%
	5 次代を担う産業と働く場を生み育てる	96.2%	76.7%	10.0%	13.3%
	6 地域の魅力を磨き上げ人を呼び集める	93.1%	72.0%	4.0%	24.0%
	7 アジアと世界の活力を呼び込む	92.0%	64.3%	14.3%	21.4%
地域が輝く長崎県		91.4%	70.1%	10.2%	19.7%
	8 「地域発の地域づくり」を進める	92.8%	69.7%	9.1%	21.2%
	9 安全・安心で快適な地域をつくる	88.5%	62.7%	13.4%	23.9%
	10 地域づくりを支えるネットワークをつくる	97.1%	88.9%	3.7%	7.4%
全体		91.9%	65.0%	14.4%	20.6%

※達成状況の判定基準:達成(平均達成率 100%)、概ね達成(平均達成率 90%以上)、未達成(平均達成率 90%未満)

【表 2】 施策別の数値目標の達成状況

(人が輝く長崎県)

基本理念	政策	施策	数値目標数	平均達成率	達成状況	
人が輝く長崎県	政策1	[施策1] 子どもの伸びやかな育ちへの支援	6	85%	未達成	
		[施策2] 子どもたちの個性を活かし、能力を伸ばす教育の推進	14	91%	概ね達成	
		[施策3] 豊かな心と志を持ってたくましく生きる力の育成	13	86%	未達成	
		[施策4] 家庭や地域の教育力・養育力の向上	5	98%	概ね達成	
	政策2	[施策1] 医療をみんなで支える体制づくり	12	91%	概ね達成	
		[施策2] きめの細かいセーフティネットの構築	15	93%	概ね達成	
		[施策3] 安全・安心な消費生活の実現	4	100%	達成	
		[施策4] 食の安全・安心の確保	7	85%	未達成	
	政策3	[施策1] すべての人の社会参加への支援	13	93%	概ね達成	
		[施策2] 県民の健康と元気づくりへの支援	8	86%	未達成	
		[施策3] 産業を輝かせる人づくり	17	90%	概ね達成	
		[施策4] 地域を輝かせる人づくり	7	99%	概ね達成	
			計	121	91.2%	

※達成状況の判定基準:達成(平均達成率 100%)、概ね達成(平均達成率 90%以上)、未達成(平均達成率 90%未満)

「人が輝く長崎県」においては、施策「安全・安心な消費生活の実現」が目標を達成したが、「子どもの伸びやかな育ちへの支援」、「豊かな心と志を持ってたくましく生きる力の育成」、「食の安全・安心の確保」及び「県民の健康と元気づくりへの支援」の 4 つの施策が未達成となった。

＜未達成施策の今後の取組方針＞

- ①子どもの伸びやかな育ちへの支援(政策 1 施策 1)
 - ・「子育てについて楽しいと感じることの多い人の割合」、「待機児童の解消」などが未達成となっており、経済的支援を含めた総合的な子育て支援や、県民の保育需要に対応した定員増、保育人材の育成などの受け皿整備を推進していく。
- ②豊かな心と志を持ってたくましく生きる力の育成(政策 1 施策 3)
 - ・「不登校児童生徒数」や「暴力行為の発生件数」などが未達成となっている。学校が組織として問題行動等に対応するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を拡充し、教育相談体制の更なる充実を図ることや、学校・警察の相互連絡制度等を活用し未然防止に努めることが重要であると考えことから、今後は、市町教育委員会や関係機関との合同研修会の開催、情報の共有など連携を強化していく。
- ③食の安全・安心の確保(政策 2 施策 4)
 - ・「高度な衛生管理の下で取り扱われる水産物の数量」が未達成となっている。現在、消費者に安全・安心な水産物を供給するため、魚市場関係者等と協議しながら、高度な衛生管理による岸壁や荷捌き所の整備等を進めているところであり、平成 33 年の供用開始に向けた取組を引き続き推進する。
- ④県民の健康と元気づくりへの支援(政策 3 施策 2)
 - ・「特定健康診査受診率」や「週に 1 日以上スポーツする県民の割合」が未達成となっており、特定健診未受診者に効果的な声かけを行う「健診一声運動」や市町の取組を支援する県調整交付金の拡充、県民が気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくり等に取り組んでいく。

(産業が輝く長崎県)

基本理念	政策	施策	数値目標数	平均達成率	達成状況	
産業が輝く長崎県	政策4	[施策1]「ナガサキブランド」の確立	13	82%	未達成	
		[施策2]業として成り立つ農林業の所得の確保	4	100%	達成	
		[施策3]強い経営力を持った農林業の経営体の育成	5	100%	達成	
		[施策4]収益性の高い、安定した漁業・養殖業の実現	6	82%	未達成	
		[施策5]次代へつなぐ水産資源と漁場づくり	6	93%	概ね達成	
		[施策6]第2次産業や第3次産業との連携	6	100%	達成	
		[施策7]基盤技術の向上につながる研究開発の展開	4	97%	概ね達成	
	政策5	[施策1]地場企業の育成・支援	10	97%	概ね達成	
		[施策2]企業誘致の推進	4	100%	達成	
		[施策3]新産業の創出・育成	11	94%	概ね達成	
		[施策4]産学官協働による研究開発・技術支援の展開	8	95%	概ね達成	
	政策6	[施策1]魅力ある観光地づくりの推進	3	78%	未達成	
		[施策2]観光客の誘致促進	5	97%	概ね達成	
		[施策3]歴史・文化などの魅力の向上	10	90%	概ね達成	
		[施策4]文化・スポーツイベントを活用した交流の拡大	4	100%	達成	
		[施策5]歴史的結びつきと文化的特性を活かした海外との交流の推進	4	100%	達成	
	政策7	[施策1]アジアの観光客の誘客強化	4	73%	未達成	
		[施策2]クルーズ観光の拡大	3	100%	達成	
		[施策3]外国人の受入環境の整備・向上	2	100%	達成	
		[施策4]県産品の輸出強化と企業の進出支援	7	99%	概ね達成	
			計	119	93.2%	

「産業が輝く長崎県」においては、施策「業として成り立つ農林業の所得の確保」をはじめ、8つの施策が目標を達成したが、「ナガサキブランド」の確立、「収益性の高い、安定した漁業・養殖業の実現」、「魅力ある観光地づくりの推進」及び「アジアの観光客の誘客強化」の4つの施策が未達成となった。

<未達成施策の今後の取組方針>

①「ナガサキブランド」の確立(政策4 施策1)

・「事業関与による生産・出荷団体、メーカーと新規流通企業等との取引件数」や「市・町参加による「長崎フェア」開催数」、「食の商談会」開催地数」などが未達成となっており、商談会を主催する市町や団体等との連携を強化し、県内企業への効果的なマッチング、取引機会の提供に努めていく。

②収益性の高い、安定した漁業・養殖業の実現(政策4 施策4)

・「新技術等の導入を支援した件数」や「共済加入率」などが未達成となっており、経営改善計画の策定およびそれに基づく技術導入(機器整備)等への支援や、関係団体等と連携した漁業者等への共済制度の普及啓発などに取り組み、漁業経営の改善、安定化を図っていく。

③魅力ある観光地づくりの推進(政策6 施策1)

・「観光客へのおもてなし活動を実践している県民の割合」や「教育活動でおもてなしを取り上げた小学校の割合」が未達成となっており、全世帯広報誌による長崎県総おもてなし運動の普及啓発や出前講座の実施、民間事業者・団体等から構成される「長崎県総おもてなし運動推進会議」の取組への支援等により、県民のおもてなしの心の醸成、おもてなしの取組への参画を促していく。

④アジアの観光客の誘客強化(政策7 施策1)

・「国際定期航空路線数」や「国際定期航空路線の利用者数」が未達成となっており、上海線及びソウル線については利用促進への取組により路線の維持・拡大を図るとともにチャーター便の運航について十分な実績がある香港線等の新たな国際定期航空路線の開設に向けて取り組む。また、長崎空港の24時間化に向けた深夜早朝帯の路線誘致についても積極的に取り組んでいく。

(地域が輝く長崎県づくり)

基本理念	政策	施策	数値目標数	平均達成率	達成状況	
地域が輝く長崎県	政策8	[施策1]自発的な地域づくりの推進	9	96%	概ね達成	
		[施策2]他地域をリードする先進的な取組の展開	8	87%	未達成	
		[施策3]しまや過疎地域の活性化	4	94%	概ね達成	
		[施策4]文化・芸術によるまちづくり	4	91%	概ね達成	
		[施策5]スポーツによる地域の活力の創出	5	92%	概ね達成	
		[施策6]世界平和への貢献	4	93%	概ね達成	
	政策9	[施策1]災害に強く命を守るまちづくり	23	85%	未達成	
		[施策2]安全・安心なまちづくり	15	90%	概ね達成	
		[施策3]地球温暖化対策の推進	4	81%	未達成	
		[施策4]環境への負荷の削減と循環型社会づくり	15	86%	未達成	
		[施策5]人と自然が共生する地域づくり	13	96%	概ね達成	
	政策10	[施策1]高速・広域交通体系の確立	11	100%	達成	
		[施策2]都市の競争力を高めるまちづくり	8	97%	概ね達成	
		[施策3]離島や半島等の暮らしを支える地域交通・情報通信の確保	9	93%	概ね達成	
	計			132	91.4%	
	全体(人、産業、地域)計			372	91.9%	

※施策の達成状況：達成(10施策)、概ね達成(24施策)、未達成(12施策)

「地域が輝く長崎県」においては、施策「高速・広域交通体系の確立」が目標を達成したが、「他地域をリードする先進的な取組の展開」、「災害に強く命を守るまちづくり」、「地球温暖化対策の推進」及び「環境への負荷の削減と循環型社会づくり」の4つの施策が未達成となった。

<未達成施策の今後の取組方針>

①「他地域をリードする先進的な取組の展開(政策8 施策2)

- ・「県内企業が参加した事業化プロジェクトの創出件数」や「未来型ドライブ観光の体験者数」などが未達成となっている。事業化プロジェクトの創出については、超小型モビリティ関連分野における事業化プロジェクト創出のため、長崎県産業振興財団に配置したプロジェクトマネージャーを活用し、県内企業の参画支援、県外協力企業との連携強化等に取り組んでいく。
- ・また、五島地域におけるEVの利活用については、地元協議会や市町と協議しながら、具体策の検討を進めていく。

②「災害に強く命を守るまちづくり(政策9 施策1)

- ・「住宅の耐震改修計画作成数」や「民間特定建築物の耐震診断実施数」などが未達成となっている。耐震化の必要性に対する県民の意識向上を図るため、耐震改修補助制度を含め、新聞広告やHP掲載、ラジオ放送等による周知・PRのほか、直接県民の声を聴く耐震無料相談会の開催などにより、災害に強いまちづくりを推進していく。

③地球温暖化対策の推進(政策9 施策3)

- ・「環境マネジメントシステムの新規認証登録件数」や「EV導入によるCO2削減量」が未達成となっている。地球温暖化の防止に向けて、環境マネジメントシステムの導入に向けた事業者への働きかけや、充電インフラの整備等によるEVの普及促進に取り組み、県民、事業者、行政等が連携した省エネルギー対策等を推進していく。

④環境への負荷の削減と循環型社会づくり(政策9 施策4)

- ・「諫早湾干拓調整池の水質保全目標値(COD)」や「民間建築物の吹付けアスベスト等の除去等件数」などが未達成となっている。調整池の水質改善に向けた新たな行動計画の策定や、吹付けアスベストの使用可能性がある建築物所有者への成分調査実施の働きかけなどに取り組み、環境への負荷の削減や、県民の健康被害防止を推進していく。

(3) 政策横断プロジェクトの達成状況

- 長崎県の特徴を活かした長崎ならではの戦略的な取組である政策横断プロジェクトの達成状況は、「アジア・国際戦略」及び「ナガサキ・グリーンニューディール」は概ね達成となっていますが、「『しまは日本の宝』戦略」は未達成となっています。

【表 3】 施策別の数値目標の達成状況

政策横断プロジェクト	平均達成率	達成区分		
		達成	概ね達成	未達成
『しまは日本の宝』戦略	88.8%	68.6%	11.4%	20.0%
アジア・国際戦略	92.5%	68.8%	6.3%	25.0%
ナガサキ・グリーンニューディール	90.2%	63.6%	9.1%	27.3%
全体	89.9%	67.7%	9.7%	22.6%

【課題および今後の取組方針】

■ 『しまは日本の宝』戦略

「しまは日本の宝」戦略は、離島の自立的発展と人口減少の緩和をめざしており、このプロジェクトが目指す最上位の数値目標ともいえる「人口減少の緩和」については、社会減の減少率が目標（7.5%未満）より低い減少率にとどまり、目標は達成したものの、依然として人口減少に歯止めがかかっていない。

同戦略の基本方針別で見ると、「離島の重要性の発信と不利条件の解消」及び「他地域をリードする取組」は、達成率が91%と概ね達成している状況にあるが、「医師等の確保と産業の活性化」は、達成率が85%と低く、待機児童解消や医師確保等に関する目標が未達成となった。

＜未達成分野の今後の取組方針＞

- ・ 今後は、医学修学資金制度等による医師養成、離島・へき地医療支援センターによる診療所勤務医師の斡旋等による医師確保や、新卒保育士の県内施設への就職率アップ、潜在保育士の再就職に向けた支援等による保育人材の確保など、未達成項目をフォローアップしながら、新総合計画における「しまは日本の宝」戦略に掲げる、しまの地域資源を活かした産業振興と雇用の場の確保、交流人口の拡大などに戦略的に取り組んでいく。

■ アジア・国際戦略

アジア・国際戦略では、長い交流の歴史によって培ってきた国際的友好・信頼関係や海外への情報発信など、ソフトパワーの強化を土台にして、専門的な知識・情報によるサポート体制の強化に取り組み、海外からの観光客や県産品の輸出拡大、企業の海外展開など、実需の創出・拡大を目指している。

同戦略の達成状況を取組分野別に見ると、「県産品の輸出拡大」や「企業の海外展開」、「海外との文化交流」の分野については、目標を達成したが、「海外からの観光客誘致」分野については、日中関係の悪化等により、「国際定期航空路」の分野については、ソウル線運休等の影響により未達成となったほか、「国際人材の活用・育成」分野において、中学生の英語の基礎学力に関する目標が未達成となった。

＜未達成分野の今後の取組方針＞

- ・ 「海外からの観光客誘致」については、平成28年10月再開の長崎～ソウル便を活用した教育旅行、巡礼ツアー等の需要の掘り起こしや、増加が見込まれる個人旅行者に訴求する効果的な情報発信に取り組むとともに、既存の国際定期航空路線の一層の利用促進と新たな路線開設にも取り組む。
- ・ 「国際人材の活用・育成」については、教員の指導力を向上させていくとともに、「イングリッシュキャンプ」など、中学生の英語力向上に資する取組の充実を図っていく。
- ・ 今後も「アジア・国際戦略」に基づき、部局（課）が横断的に連携し、ターゲットとなる国（地域）の社会経済情勢、特性などに則した効率的かつ効果的な事業実施を推進することにより、確実に活力を取り込み、本県経済の活性化につなげていく。

■ ナガサキ・グリーンニューディール

ナガサキ・グリーンニューディールでは、本県が持つ産業・技術拠点や新エネルギー創出を支える豊かな自然環境を活かしながら、「産業振興、雇用創出」と「社会の低炭素化・グリーン化の実現」を目指している。

同戦略の達成状況を施策別に見ると、「再生可能エネルギーの利活用」や「省エネ技術の導入」の分野については目標を達成したが、「社会システムの構築」及び「環境保全型産業の振興」の分野については、「未来型ドライブ観光の体験者数」や「国内外の産業展示会等におけるマッチング・成約件数」などが目標未達成となった。

<未達成分野の今後の取組方針>

- ・「社会システムの構築」について、EVレンタカーの利活用促進に向けた五島市、新上五島町、地元協議会と連携した具体策の検討を進めるとともに、「環境保全型産業の振興」について、県内中小企業の取引拡大・新規参入に向けた大都市圏での展示会への出展支援を行うなど、未達成項目をフォローアップしながら、新総合計画における「ナガサキ・グリーンイノベーション戦略」に掲げる、海洋エネルギー産業の拠点形成や小型潮流発電設備の商用化などによる「産業振興・雇用創出」、対馬プロジェクトやICT等による産業生産性向上などの「社会の低炭素化・グリーン化」の加速化を目指す。

3 未達成（概ね達成含む）数値目標の引継ぎ状況

(1) 未達成（概ね達成含む）数値目標の引継ぎ状況

- 最終目標が未達成(概ね達成含む)となった124の数値目標のうち、12の数値目標は、社会情勢の変化に伴う政策の見直しなどの理由により、進捗管理を終了することとしていますが、その他の項目については、新たな総合計画や個別計画へ引き継ぐなどして、引き続き進捗を管理してまいります。

【表4】最終目標未達成（概ね達成含む）項目の引継ぎ状況

	計	新総合計画 へ引継ぐ項目	個別計画へ 引継ぐ項目	事務事業評価 へ引継ぐ項目	所管課で進捗 管理する項目	進捗管理を 終了する項目
概ね達成	53 (12)	17 (8)	12 (3)	4 (1)	12 (0)	8
未達成	71 (16)	23 (7)	10 (2)	13 (7)	21 (0)	4
計	124 (28)	40 (15)	22 (5)	17 (8)	33 (0)	12

※()内は引継ぐにあたって、指標を見直したのもの

【表5】進捗管理を終了する理由

	数値目標	所管課	達成率	進捗管理を終了する理由
1	地域子育て支援拠点の設置数	こども未来課	95%	利用状況からほぼ充足しており、事業実施主体の市町の計画にも増設予定が殆ど無いため。
2	離島医療圏の人口10万人当たりの病院勤務医師数(毎年調査)	医療人材対策室	92%	長崎県総合計画チャレンジ2020の数値目標である「離島の病院等に勤務する医師数」により進捗管理が可能であるため進捗管理を終了する。
3	ながさき県民大学への参加、シルバー人材センターへの入会などの生涯学習活動等に参加した人の割合	雇用労働政策課・生涯学習課	77%	「生涯学習活動に参加した人の割合」は全体的な数値の把握が難しいため、今後は、「ながさき県民大学の講座受講者数」にて進捗管理する。なお、高齢者雇用の指標の「シルバー人材センター会員数」については、「65歳までの継続雇用がある企業の比率」で進捗管理する。
4	県内の行政主催の男女共同参画関係イベントに参加した男性の割合	男女参画・女性活躍推進室	96%	男性にとっての男女共同参画社会の普及啓発のため、イベント全般における男性の参加率向上に努めてきたが、国の「一億総活躍社会の実現」「働き方改革」の加速化や女性活躍推進法の施行など社会情勢の変化により、今後は、経営者を対象としたセミナーを効果的に実施することで、男女共同参画への男性の理解促進や意識改革を図り、男女がともに働きやすい環境整備を進めていく。
5	グルメフェア参加店舗数	物産ブランド推進課	49%	飲食店を対象とするグルメフェアは平成16年度から、県が主体となって実施してきたが、近年、県内各地域で地元の特色を出した食のキャンペーン等を積極的に行っており、県が主体となって実施する役割を果たしたと判断し、平成24年度をもってグルメフェアの開催自体を終了したため進捗管理を終了する。

	数値目標	所管課	達成率	進捗管理を終了する理由
6	市町が設定した活性化の目標を達成した商店街等団体の割合(累計)	商務金融課	97%	本目標の進捗管理していた「まちなか活性化推進事業」が平成26年度で終了し、平成27年度より後継事業「地域拠点商店街支援事業」にて引き続き商店街等を支援することとしており、数値目標としては、商店街等が設定した各実施事業の目標達成割合について進捗管理することとしている。
7	事業化検討会への参加企業数	海洋・環境産業創造課	98%	・これまでは、事業化に向けた機運を醸成するため、不特定多数の事業者に対し働き掛けてきたが、今後は、やる気のある県内企業の事業化に向けた具体的な案件に対し個別支援するため。
8	新たな「一社一技」獲得数(新たな取組により事業化したもの)(累計)	企業振興課	93%	本指標は、「大学等との連携により創出されたプロジェクト件数」、「ものづくり試算加工支援センターで試作した件数」、「競争的研究資金採択件数」、「長崎県における特許出願数」、「アドバイザー支援による契約成約数」、「県有特許取得件数」、及び「県有特許の新たな実施許諾件数」の7つの数値目標の合計であり、このうち、「長崎県における特許出願数」のみが目標未達成となっている。当指標の構成要素である「長崎県における特許出願数(累計)」の指標を終了することに伴い進捗管理を廃止したい。
9	長崎県における特許出願数(累計)	企業振興課	70%	特許出願費用や維持コストの観点から企業が厳選して出願する傾向が定着し、全国的に長期間減少が続いている。今後は大企業や研究機関の特許について中小企業での有効活用を推進する。
10	ミュージアム県への参加地区数	文化振興課	94%	ミュージアムが設置されている20市町を目標に実施してきたが、内1市町の施設が閉館したため19地区となり、目標は達成したため。
11	長崎歴史文化博物館の入館者数	文化振興課	89%	開館以来、建設基本構想時の目標年間利用者数20万人を大きく上回る40万人台の入館者数を維持できており、今後は、目標値を定めず、県の中核館としての機能充実のため、県内全域における歴史文化・芸術にふれる機会の提供に取り組むことを目的として新たに「本展、移動展や遠隔事業等の実施市町数」を指標とするため。
12	修学旅行・企業報奨旅行誘致件数	観光振興課	88%	インバウンド誘致のための一対策としては引き続き取り組むが、客観的な数値の把握ができないため。